



ごうちゃんねる (GO-CHANNEL)

2024/02/22

## 何を信じていいのか

### 中東情勢に潜む黒い闇 アルジャジーラ

東住吉キリスト集会 高原 剛一郎 氏



お元気ですか。高原剛一郎です。今日は、テレビ局のアルジャジーラについてお話しします。というのは、大変気になるニュースが入って来たからなんです。

アルジャジーラはアラブの国カタールが持っている、24 時間衛星中継で、英語とアラビア語でニュースを流しまくる放送局です。

アルは定冠詞（英語の The）、ジャジーラは “半島”。

アルジャジーラは “The 半島”。カタール半島のことなんです。

カタールの放送局アルジャジーラの収益のほとんどは、そこの新聞記者たちが撮って来た映像を海外の放送局に売り、海外の放送局がその映像を買ったお金です。

中でも最もたくさん買っている、この海外放送局の収入のほとんどを占めているのは NHK なんです。NHK とアルジャジーラは非常に提携していて、NHK はアルジャジーラを使って、中東情報を流していると言ってもいいでしょう。

NHK のみならず世界中の放送局は、なぜアルジャジーラをそんなに重用するのか。中東の激戦地やトラブルが頻発しているような所、つまり、外国人記者が滅多に入って行けないようななどんな所にも、アルジャジーラの記者がいるんですね。

特に中東ですよ。シリアの激戦地や、今ならガザにアルジャジーラの記者がいて、ドンパチやっているところを背景に「今現場にいます」レポートしてるんですね。

特にガザのテロ戦争では、凄い映像をバンバン送って来たんです。

あの 10 月 7 日の朝 6 時に、6000 発くらいのロケット弾を撃ち込まれましたね。

そして、6 時半頃までに 3000 人のテロ要員がイスラエル本土に入って来ました。

その現場にアルジャジーラの記者が居合わせて、「今テロが行われています！こんな状態です！」とテロの実況中継ですよ。

なんでそんな所に入れるのか。というよりも、なぜそのタイミングで、アルジャジーラの記者がそこにいたのか。



今年 2 月 11 日に、イスラエルの情報でこんなものが入りました。彼はアルジャジーラの記者でガザのジャーナリスト、モハメド・ワシャーです。

「今ガザの難民キャンプに來ています。イスラエルの空爆で、私の後ろはムチャクチャな状態です！」と実況中継してますが、IDF（イスラエル国防軍）が彼のパソコンを押収して解析した結果、アルジャジーラの記者というのは借りの姿で、実はハマスの特戦師団の司令官だと分かってしまったんです。

もしかしたら、副業でやっているのかもしれない。

もしかしたら記者が副業で、メインは対戦車師団の司令官かもしれません。  
いや、両方とも本職で、対戦車師団の時には武器でイスラエルを攻撃し、アルジャジーラの記者になっている時は、フェイク情報という言葉の武器でイスラエルを攻撃しているのかもしれない。



左は、対戦車砲の使い方をハマスの若い兵士に教えている写真。  
右は、彼自身が対戦車攻撃兵器で狙いを定めて、模範指導をしているところです。  
れっきとしたハマスの。しかし、NHKの番組ではアルジャジーラの記者になる。

アルジャジーラの情報流している、アルジャジーラと提携しているNHKは、私たちから放送契約料を取っているじゃないですか。  
それがハマスに入っている可能性があるんですね。NHKはアルジャジーラに金払う。  
アルジャジーラはハマスの指揮者に金払うということになるんです。

こんな情報を聞いてたら、そらあ反イスラエルになりますよ。  
中立を装っている記者が実はハマスそのものなんだから、ハマスに不利なことを言うわけないし、イスラエルをことすら悪者にする報道になるわけですよ。  
私たちはそんなこと知らないから、それを「はあ、はあ」と聞いている間に洗脳されてしまうんです。

さて、今日は長々とお話しするのをやめて、ハマスのテロ戦争の構図を分かりやすく説明したいんですね。  
YouTubeに、私が欠かさずチェックしているビホールド イスラエル (Behold Israel) というサイトがあります。ユダヤ人／イスラエル人で、イエス・キリストを信じているアミールさんの番組ですが、彼の情勢分析は非常に聖書に基くもので、多くの示唆を与えてくれるんですね。  
ちゃんと日本語の字幕が付いているので、安心して見ることができます。

その中でこんな紹介がありました。イスラエルとハマスの問答集ということで、今回の戦争の成り立ち・構造を説明しているんです。  
イスラエルはハマスに言います。「イスラエルの生存権を認識し、平和条約を結べますか？」ハマスは「No!」「ロケット発射、止められますか?」「No!」  
「テロ攻撃、防止できますか?」「No!」「イスラエルの人質を解放しますか?」「No!」イスラエルは答えます。「分かりました。では、私たちはわが国民を守ります!」ハマスは「大量虐殺だ!!!」

これです。この戦争はハマスが人質を全員解放して降伏したら、即終わるんです。  
なぜ戦争が延々と続いているんですか。

人質を返さず、テロ攻撃を相変わらず毎日毎日やってるからです。

では、なぜハマスはイスラエルの生存権を認めず、平和条約を結ぶことができないんでしょう。ハマス憲章に基づいているからです。

ハマスの最終目的は「世界を平和の家にする事だ」と言うんですよ。

平和の家にするのに、なぜこんな暴力を振るうのか。

彼らの考えには、世界には戦争の家と平和の家があるんです。戦争の家はイスラム教に支配されてない国のこと。平和の家はイスラム教に支配されている国のこと。イスラム教に支配されている国にするための戦争は平和の戦争という論理です。

彼らが目指しているのは、最終的にパレスチナからイスラエルを全滅させることですが、パレスチナ人の国を造ることが目的ではなく、パレスチナ人であっても、イスラム支配に入らない人たちは全滅させます。

そして、中東全体にイスラム原理主義を広げ、最終的には、全世界をハマスが考えている正義に基づく平和の国にする。

あなたはそれを歓迎しますか。私は真っ平ごめんですね。

そのようなイスラムテロが世界中に広がるのを最前線で食い止めている国、それがイスラエルです。いわば、イスラエルは日本のためにも戦ってくれていると言えるのではないのでしょうか。

これは恐るべき戦いなんですね。ということを確認していただければ、中東情勢がもう少し分かりやすくなるのではないかと思います。

ではまた、ごうちゃんねるでお会いしましょう。チャンネル登録もお願いします。皆さん、お元気でいらしてください。さよなら！